

平成 24 年 11 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社エイアンドティー
代表者の役職氏名 代表取締役社長 磯村 健二
(コード番号：6722)
問 い 合 わ せ 先 取締役経営管理本部長 新国 泰正
電 話 番 号 045-440-5810 (代)

固定資産の取得および譲渡に関するお知らせ

株式会社エイアンドティー(以下、当社)は、本日開催の当社取締役会において、下記のとおり固定資産の取得および譲渡することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取得および譲渡の背景・理由

当社は、昭和 55 年 6 月に本社および開発拠点として日野事業所(東京都日野市)を開設し、主に検体検査装置、臨床検査試薬の研究開発を行ってまいりました。その後、事業拡大へ向けて新たな研究開発・製造設備の拠点を検討していたところ、当社の親会社である株式会社トクヤマ(以下、トクヤマ)の開発拠点であった藤沢研究所(神奈川県藤沢市)をつくば研究所へ集約させる計画が挙げたことから、平成 13 年 3 月に同拠点への移転を決定いたしました。これにより、当社は藤沢研究所(当社事業所名;湘南サイト)の土地・建物をトクヤマより賃借し、日野事業所を賃貸設備として現在まで保有いたしております。

このたび、今後の事業戦略を踏まえた固定資産の整理を目的として、当社が独自の開発、製造設備投資を可能とするよう、賃借中の現開発・製造拠点である湘南サイトを取得し、現在は当社事業と関連のない日野事業所を譲渡することにいたしました。今後、湘南サイトはグローバル品質の製品開発センターと、高品質な臨床検査試薬・消耗品等を安定供給できる製造工場を併設した総合施設を目指して、段階的に設備増強を行っていく予定であります。

2. 取得資産および取得先の内容

取得資産

| | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 資 産 の 種 類 | 土地および建物 (10,787.57 m ²) |
| 名 称 お よ び 所 在 地 | 湘南サイト 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1 |
| 取 得 価 額 | 1,083 百万円 |
| 決 済 方 法 | 金融機関からの借入を予定 |
| 現 況 | 研究開発設備・生産設備他 |

取得先（平成 24 年 3 月 31 日現在）

| | |
|-------------|--|
| 商 号 | 株式会社トクヤマ |
| 本 店 所 在 地 | 山口県周南市御影町 1 番 1 号 |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 社長執行役員 幸後 和壽 |
| 設 立 年 月 日 | 大正 7 年 2 月 16 日 |
| 資 本 金 の 額 | 53,458 百万円 |
| 純 資 産 | 255,460 百万円 |
| 総 資 産 | 501,181 百万円 |
| 大株主および持株比率 | 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） 7.12% 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 5.00% 3. 日本生命保険相互会社 4.44% 4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 9) 3.42% 5. 株式会社山口銀行（常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社） 2.36% |
| 主 な 事 業 内 容 | 総合化学事業 |
| 当 社 と の 関 係 | 資本関係・・・当社株式 40.2%の議決権比率を保有 人的関係・・・役員兼任（1 名）および出向者（13 名）の受入 取引関係・・・本設備の土地・建物の賃借、特許料の支払い等 関連当事者への該当状況・・・当社の親会社に該当 |

3. 支配株主との取引等に関する事項

今回、トクヤマからの湘南サイト取得（以下、当該取引）につきましては、支配株主等との取引に該当します。当社はトクヤマの連結対象子会社であり、人的関係以外に湘南サイトの土地・建物の賃借、特許料等の支払い取引がありますが、重要な営業上の取引はなく、自ら経営責任を持つ事業経営を行っており、当社の独立性は十分に確保されているものと認識しております。

当該取引の取得価額の妥当性について、公正性の担保および利益相反を回避するため、両社は利害関係のない日本土地建物株式会社より湘南サイトの土地・建物に関する査定書（VITAL REPORT）を平成 23 年 12 月に取得し検討を行ってまいりました。また、簿価、路線価、周辺の不動産価格、現在の建物状況、今後の計画および当社の顧問税理士の意見等も交え検討を重ねてまいりました。さらに、当該取引について独立した第三者として、当社の独立役員である社外監査役佐伯一郎氏（四五六法律事務所 代表弁護士）から、上述の査定書、検討状況、不動産売買契約書等を踏まえ、総合的に勘案して一般的に妥当であると考えられる条件で行う取引であり、少数株主にとって不利益になるものではないとの意見書を平成 24 年 11 月 26 日付で入手しております。

なお、当該取引は平成 24 年 3 月 30 日に開示したコーポレートガバナンス報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」（以下、記載）の内容に対しても、上述の検討状況から適合していると考えております。

●支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針

株式会社トクヤマとの人的関係以外の取引につきましては、重要な営業上の取引はなく、土地建物の賃借、特許料等の支払いがありますが、これらの取引につきましては、市場価格等を勘案して一般的に妥当と考えられる条件により行っており、特定の株主を利する取引ではありません。（平成 24 年 3 月 30 日開示のコーポレートガバナンス報告書より）

4. 譲渡資産および譲渡先の内容

譲渡資産

| | |
|----------|--|
| 資産の種類 | 土地および建物（1,241.47 m ² ） |
| 名称および所在地 | 日野事業所 東京都日野市大字日野 320 番 11、23、132、146、156 |
| 帳簿価額 | 118 百万円（平成 24 年 6 月 30 日現在） |
| 現況 | 賃貸設備（店舗・事務所） |

譲渡先

譲渡先は戸建て住宅販売業者となりますが、譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、関連当事者には該当しません。

5. 取得および譲渡の日程

- ・湘南サイト取得契約および物件取得予定日 平成 24 年 11 月 30 日
- ・日野事業所譲渡契約予定日 平成 24 年 12 月 3 日
- ・日野事業所物件譲渡予定日 平成 25 年 6 月 21 日

6. 今後の見通し

今期の通期業績につきましては、固定資産の取得および譲渡に関する経費として約 18 百万円、特別損失（減損損失）として約 38 百万円を計上予定であります。各製品原価の低減と、販売費および一般管理費の抑制に継続して努めることで、概ね前回公表（平成 24 年 8 月 2 日付「業績予想修正に関するお知らせ」）した業績予想で推移する見込みであります。なお、来期以降は、日野事業所からの賃貸料 10 百万円がなくなり、湘南サイト取得による減価償却費、固定資産税の増加、修繕維持費等の発生が見込まれるものの、日野事業所の維持経費 7 百万円およびトクヤマへの賃借料 73 百万円の支払いがなくなるため、年間経費の抑制につながる見込みであります。

以上

（注）上記の業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。